

space in modern architecture.

はじめに

「車社会」の言葉に代表されるように交通網の内容の充実と安全性が要求されています。道路がおかれる環境条件下において「年間を通じ安全で信頼性の高いモビリティの確保」は、現在の道路交通に依存した経済活動において極めて重要な課題です。冬期間の道路交通障害の多くは、吹雪による吹きだまり、及び視程の悪化によるものであり、いずれも交通機関を遮断し道路交通網をマヒさせる原因となっています。

又、風の影響を受ける道路においても同様のことが言えます。強風・突風・横風による事故を未然に防ぎ、歩行者及び植木の保護など、これらの諸問題の解決策として防風柵・防雪柵が設置され、その効果が高く評価されています。弊社では現場状況に応じた各種の防風柵・防雪柵を品揃えし、強風地域における風害の防止及び、積雪寒冷地域の冬季の道路交通網の改善に貢献しています。

防雪柵の定義

防雪柵は、鋼板などの材料で作られた防雪板を用いて柵前後(風上・風下)の風速や風の流れを制御し、飛雪を吹きだめたり吹き払うことによって、道路の吹きだまり防止や視程生涯の緩和を図ることを目的とした防雪施設である。

構造と機能の違いによって4種類に分けられ、気象・地形・土地利用などの沿道環境・道路構造や目的に応じて使い分けられる。

- ↓
- ①吹くだめ柵 ②吹き止め柵 ③吹き払い柵 ④吹き上げ防止柵

北海道の防風防雪柵の現状

一般的に鋼製の防風防雪柵が設置されている。

実用的ではあるが景観性に優れた製品ではなく、観光道路等では視界を阻害。



汎用タイプ設置状況



汎用タイプ夏季収納状況